

学校コード F133310109572

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更  
注1

**届出**

注2

ノートルダム清心女子大学  
大学院

文学研究科

英語英米文学専攻 (D)

## 【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人 ノートルダム清心学園  
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 学部学科等設置準備室

職名・氏名 ジョウ フジワラ クミコ  
次長・藤原 久美子

電話番号 086-252-7054

(夜間) 086-252-7054

e-mail prep@m.ndsu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

文学研究科

＜英語英米文学専攻（D）＞

1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	25

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人ノートルダム清心学園

## (2) 大学名

ノートルダム清心女子大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒700-8516

岡山県岡山市北区伊福町2丁目16番9号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名		変更状況	備考
理事長	(ツダ アオイ) 津田 葵 (平成29年4月)		
学長	(ツダ アオイ) 津田 葵 (令和3年4月)		
研究科長	(ヤマシタ ミキ) 山下 美紀 (令和3年4月)		
専攻主任	(キヅ ミカ) 木津 弥佳 (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)  
令和5年度に報告する内容 → (5)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
文学研究科 英語英米文学専攻 博士後期課程 博士（文学）	文学関係	3 年	2 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	6 人	-	【基礎となる学部等】 ・ 文学部英語英米文学科 ・ 文学研究科英語英米文学専攻（M）

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率（控除後）	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	2人 [—]	— [—]	1.50倍	—	1.50倍	—	
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	3 [-]	(-) [-]					
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	3 [-]	(-) [-]					
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	3 [-]	(-) [-]					
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	3 [-]	(-) [-]					
入学定員超過率 B/A													1.50				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
2年次	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
3年次	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
4年次	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
計	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	-	-	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	-	-	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	-	-	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	-	-	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	3 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<文学研究科 英語英米文学専攻 (D)>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
英米文学分野	英米文学特殊講義 I A	1・2・3期		2		1							
	英米文学特殊講義 I B	1・2・3期		2		1							
	英米文学特殊講義 II A	1・2・3期		2		1							
	英米文学特殊講義 II B	1・2・3期		2		1							
	英米文学特殊講義 III A	1・2・3期		2								兼1	
	英米文学特殊講義 III B	1・2・3期		2								兼1	
	英米文学特殊講義 IV A	1・2・3期		2								兼1	
	英米文学特殊講義 IV B	1・2・3期		2								兼1	
	小計 (8科目)		—	0	16	0	2	0	0	0	0	0	兼2
英語学言語学分野	英語学言語学特殊講義 I A	1・2・3期		2		1							
	英語学言語学特殊講義 I B	1・2・3期		2		1							
	英語学言語学特殊講義 II A	1・2・3期		2		1							
	英語学言語学特殊講義 II B	1・2・3期		2		1							
	英語学言語学特殊講義 III A	1・2・3期		2								兼1	
	英語学言語学特殊講義 III B	1・2・3期		2								兼1	
	英語学言語学特殊講義 IV A	1・2・3期		2								兼1	
	英語学言語学特殊講義 IV B	1・2・3期		2								兼1	
	小計 (8科目)		—	0	16	0	2	0	0	0	0	0	兼2
国際コミュニケーション分野	IC特殊講義 I A	1・2・3期		2		1							
	IC特殊講義 I B	1・2・3期		2		1							
	IC特殊講義 II A	1・2・3期		2			1						
	IC特殊講義 II B	1・2・3期		2			1						
	IC特殊講義 III A	1・2・3期		2			1						
	IC特殊講義 III B	1・2・3期		2			1						
	IC特殊講義 IV A	1・2・3期		2								兼1	
	IC特殊講義 IV B	1・2・3期		2								兼1	
	小計 (8科目)		—	0	16	0	1	2	0	0	0	0	兼1
研究指導科目	課題研究 I A	1期	2			5	2						
	課題研究 I B	1後	2			5	2						
	課題研究 II A	2期	2			5	2						
	課題研究 II B	2後	2			5	2						
	課題研究 III A	3期	2			5	2						
	課題研究 III B	3後	2			5	2						
	小計 (6科目)		—	12	0	0	5	2	0	0	0	0	0
関連分野	ヨーロッパ社会史 A	1・2・3期		2									兼1
	ヨーロッパ社会史 B	1・2・3期		2									兼1
	宗教学社会学 A	1・2・3期		2									兼1
	宗教学社会学 B	1・2・3期		2									兼1
	外国語(英語)教育 I A	1・2・3期		2									兼1
	外国語(英語)教育 I B	1・2・3期		2									兼1
	外国語(英語)教育 II A	1・2・3期		2			1						
	外国語(英語)教育 II B	1・2・3期		2			1						
	キャリアデザイン A	1・2・3期		2									兼1
	キャリアデザイン B	1・2・3期		2									兼1
小計 (10科目)		—	0	20	0	0	1	0	0	0	0	兼4	
合計 (40科目)		—	12	68	0	5	2	0	0	0	0	兼9	

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に3年以上在学し、英米文学分野、英語学言語学分野、国際コミュニケーション分野のうち自己の専攻する研究分野(選択)から2科目4単位以上、関連分野を含む他の研究分野(選択)から2科目4単位以上、研究指導科目(必修)の6科目12単位、合計10科目20単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
英米文学分野	英米文学特殊講義 I A	1・2・3期		2		1							
	英米文学特殊講義 I B	1・2・3期		2		1							
	英米文学特殊講義 II A (未開講)	1・2・3期		2		1							
	英米文学特殊講義 II B	1・2・3期		2		1							
	英米文学特殊講義 III A (未開講)	1・2・3期		2									兼1
	英米文学特殊講義 III B	1・2・3期		2									兼1
	英米文学特殊講義 IV A	1・2・3期		2									兼1
	英米文学特殊講義 IV B	1・2・3期		2									兼1
	小計 (8科目)		—	0	16	0	2	0	0	0	0	0	兼2
英語学言語学分野	英語学言語学特殊講義 I A	1・2・3期		2		1							
	英語学言語学特殊講義 I B	1・2・3期		2		1							
	英語学言語学特殊講義 II A	1・2・3期		2		1							
	英語学言語学特殊講義 II B	1・2・3期		2		1							
	英語学言語学特殊講義 III A (未開講)	1・2・3期		2									兼1
	英語学言語学特殊講義 III B	1・2・3期		2									兼1
	英語学言語学特殊講義 IV A (未開講)	1・2・3期		2									兼1
	英語学言語学特殊講義 IV B	1・2・3期		2									兼1
	小計 (8科目)		—	0	16	0	2	0	0	0	0	0	兼2
国際コミュニケーション分野	IC特殊講義 I A (未開講)	1・2・3期		2		1							
	IC特殊講義 I B (未開講)	1・2・3期		2		1							
	IC特殊講義 II A (未開講)	1・2・3期		2					0				
	IC特殊講義 II B (未開講)	1・2・3期		2					0				
	IC特殊講義 III A (未開講)	1・2・3期		2					1				
	IC特殊講義 III B	1・2・3期		2					1				
	IC特殊講義 IV A (未開講)	1・2・3期		2									兼1
	IC特殊講義 IV B	1・2・3期		2									兼1
	小計 (8科目)		—	0	16	0	1	1	0	0	0	0	兼1
研究指導科目	課題研究 I A	1期	2			5	2						
	課題研究 I B	1後	2			5	2						
	課題研究 II A	2期	2			5	2						
	課題研究 II B	2後	2			5	2						
	課題研究 III A	3期	2			5	2						
	課題研究 III B	3後	2			5	2						
	小計 (6科目)		—	12	0	0	5	2	1	0	0	0	0
関連分野	ヨーロッパ社会史 A (未開講)	1・2・3期		2									兼1
	ヨーロッパ社会史 B	1・2・3期		2									兼1
	宗教学社会学 A	1・2・3期		2									兼1
	宗教学社会学 B	1・2・3期		2									兼1
	外国語(英語)教育 I A (未開講)	1・2・3期		2									兼1
	外国語(英語)教育 I B	1・2・3期		2									兼1
	外国語(英語)教育 II A (未開講)	1・2・3期		2					1				
	外国語(英語)教育 II B	1・2・3期		2					1				
	キャリアデザイン A (未開講)	1・2・3期		2									兼1
	キャリアデザイン B	1・2・3期		2									兼1
小計 (10科目)		—	0	20	0	0	1	0	0	0	0	兼4	
合計 (40科目)		—	12	68	0	5	2	1	0	0	0	兼9	

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に3年以上在学し、英米文学分野、英語学言語学分野、国際コミュニケーション分野のうち自己の専攻する研究分野(選択)から2科目4単位以上、関連分野を含む他の研究分野(選択)から2科目4単位以上、研究指導科目(必修)の6科目12単位、合計10科目20単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

**【令和5年度】**

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員退職の理由により、「IC特殊講義ⅡA」、「IC特殊講義ⅡB」、「課題研究ⅠA」「課題研究ⅠB」「課題研究ⅡA」「課題研究ⅡB」「課題研究ⅢA」「課題研究ⅢB」の専任教員等の配置を「准教授1」から0に変更(後任を選考中)</li> <li>・ 「IC特殊講義ⅠB」の開講時期を「後期」から「前期」へ変更。</li> </ul> |
|---|

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。



(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
6 科目	34 科目	科目	40 科目	6 科目 [ ]	34 科目 [ ]	科目 [ ]	40 科目 [ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	IC特殊講義ⅡA	2	1・2・3前		選択	担当教員退職のため
2	IC特殊講義ⅡB	2	1・2・3後		選択	担当教員退職のため

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

授業科目担当教員（専任教員）が令和5年3月末に退職したため、それを補うための専任教員が内定していたが、令和5年4月14日に採用辞退による内定取り消しとなった。  
 その後、来年度4月の専任教員の採用に向けて、現在、後任の選考を進めている。  
 なお、今年度入学者3名は、英米文学分野2名、英語学言語学分野1名であり、国際コミュニケーション分野は0名である。当該科目は国際コミュニケーション分野の科目群にある。  
 また、併せて当該科目について、年度当初に学生への聞き取りを行い、今年度の履修希望者がおらず学生に不利益は生じないことを確認している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{40} = \boxed{5}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	運動場用地はノートルダム清心女子大学附属小学校との共用（収容定員360名、運動場面積基準3,590㎡）		
	校舎敷地	35,886 ㎡	0 ㎡	4,932 ㎡	40,818 ㎡			
	運動場用地	0 ㎡	11,033 ㎡	1,172 ㎡	12,205 ㎡			
	小 計	35,886 ㎡	11,033 ㎡	6,104 ㎡	53,023 ㎡			
	そ の 他	26,879 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	26,879 ㎡			
	合 計	62,765 ㎡	11,033 ㎡	6,104 ㎡	79,902 ㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	法人部と共用			
	29,352 ㎡ (29,352 ㎡)	323 ㎡ (323 ㎡)	4,916 ㎡ (4,916 ㎡)	34,591 ㎡ (34,591 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	53室	23室	18室	4室 (補助職員 4人)	2室 (補助職員 4人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	文学研究科英語英米文学専攻（博士後期課程）			7 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械・器 具 点	標 本 点	大学全体
		文学研究科英語英米文学専攻（博士後期課程）	374,406 [86,654] (373,465 [86,818])	2,916 [432] (2,933 [434])	17,397 [15,777] (17,397 [15,777])	6,252 (6,252)	0 ( 0 )	
	計	374,406 [86,654] (373,465 [86,818])	2,916 [432] (2,933 [434])	17,397 [15,777] (17,397 [15,777])	6,252 (6,252)	0 ( 0 )	0 ( 0 )	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 消防法により、座席及び書架を撤去したため。	
	3,172㎡		355 379		312,595冊 323600冊			
(7) 体 育 館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	6,061 ㎡		水泳プール, テニスコート					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人当り研究費等		650千円	図書購入費	0千円	3,600千円	
	共 同 研 究 費 等		0千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		810千円	660千円	660千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料収入、雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	ノートルダム清心女子大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人	-	倍	倍	倍	倍	年度	年度							
文学部					-													
英語英文学科	4	90	-	350	学士(英語英文学)	0.70	-	0.70	-		昭和24	岡山県岡山市北区伊福町2丁目16番9号	令和3年度定員変更(10)					
日本語日文学科	4	70	-	270	学士(日本語日文学)	0.83	-	0.83	-		昭和27	同上	令和3年度定員変更(10)					
現代社会学科	4	70	-	270	学士(現代社会学)	0.71	-	0.71	-		平成15	同上	令和3年度定員変更(10)					
人間生活学部					-													
人間生活学科	4	80	-	310	学士(人間生活学)	1.03	-	1.04	-		昭和24	岡山県岡山市北区伊福町2丁目16番9号	令和3年度定員変更(10)					
児童学科	4	130	-	510	学士(児童学)	0.84	-	0.85	-		昭和39	同上	令和3年度定員変更(10)					
食品栄養学科	4	80	-	320	学士(食品栄養学)	1.04	-	1.06	1.05		昭和40	同上						
大学全体	4	520	-	2030	-	-	-	-	-		-	-						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。  
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<文学研究科 英語英米文学専攻 (D)>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授(専攻主任)	木津(田中) 弥佳 (59) <令和5年4月> Ph. D. in Linguistics (加国)	英語学言語学特殊講義ⅡA 英語学言語学特殊講義ⅡB 課題研究ⅠA 課題研究ⅠB 課題研究ⅡA 課題研究ⅡB 課題研究ⅢA 課題研究ⅢB
専	教授	齋藤 衛 (69) <令和5年4月> Ph. D. in Linguistics (米国)	英語学言語学特殊講義ⅠA 英語学言語学特殊講義ⅠB 課題研究ⅠA 課題研究ⅠB 課題研究ⅡA 課題研究ⅡB 課題研究ⅢA 課題研究ⅢB
専	教授	新野 緑 (66) <令和5年4月> 博士(文学)	英米文学特殊講義ⅠA 英米文学特殊講義ⅠB 課題研究ⅠA 課題研究ⅠB 課題研究ⅡA 課題研究ⅡB 課題研究ⅢA 課題研究ⅢB
専	教授	桑山 敬己 (68) <令和6年4月> Ph. D. in Anthropology (米国)	IC特殊講義ⅠA IC特殊講義ⅠB 課題研究ⅠA 課題研究ⅠB 課題研究ⅡA 課題研究ⅡB 課題研究ⅢA 課題研究ⅢB
兼任	講師	桑山 敬己 (67) <令和6年4月> Ph. D. in Anthropology (米国)	IC特殊講義ⅠA IC特殊講義ⅠB 課題研究ⅠA 課題研究ⅠB 課題研究ⅡA 課題研究ⅡB 課題研究ⅢA 課題研究ⅢB
専	教授	RAMSEY DAVID SCOTT (64) <令和5年4月> Ph. D. in English (米国)	英米文学特殊講義ⅡA 英米文学特殊講義ⅡB 課題研究ⅠA 課題研究ⅠB 課題研究ⅡA 課題研究ⅡB 課題研究ⅢA 課題研究ⅢB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授(専攻主任)	木津(田中) 弥佳 (59) <令和5年4月> Ph. D. in Linguistics (加国)	英語学言語学特殊講義ⅡA 英語学言語学特殊講義ⅡB 課題研究ⅠA 課題研究ⅠB 課題研究ⅡA 課題研究ⅡB 課題研究ⅢA 課題研究ⅢB
専	教授	齋藤 衛 (69) <令和5年4月> Ph. D. in Linguistics (米国)	英語学言語学特殊講義ⅠA 英語学言語学特殊講義ⅠB 課題研究ⅠA 課題研究ⅠB 課題研究ⅡA 課題研究ⅡB 課題研究ⅢA 課題研究ⅢB
専	教授	新野 緑 (66) <令和5年4月> 博士(文学)	英米文学特殊講義ⅠA 英米文学特殊講義ⅠB 課題研究ⅠA 課題研究ⅠB 課題研究ⅡA 課題研究ⅡB 課題研究ⅢA 課題研究ⅢB
専	教授	桑山 敬己 (67) <令和6年4月> Ph. D. in Anthropology (米国)	IC特殊講義ⅠA IC特殊講義ⅠB 課題研究ⅠA 課題研究ⅠB 課題研究ⅡA 課題研究ⅡB 課題研究ⅢA 課題研究ⅢB
兼任	講師	桑山 敬己 (67) <令和6年4月> Ph. D. in Anthropology (米国)	IC特殊講義ⅠA IC特殊講義ⅠB 課題研究ⅠA 課題研究ⅠB 課題研究ⅡA 課題研究ⅡB 課題研究ⅢA 課題研究ⅢB
専	教授	RAMSEY DAVID SCOTT (64) <令和5年4月> Ph. D. in English (米国)	英米文学特殊講義ⅡA 英米文学特殊講義ⅡB 課題研究ⅠA 課題研究ⅠB 課題研究ⅡA 課題研究ⅡB 課題研究ⅢA 課題研究ⅢB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小野 真由美 (44) <令和5年4月> 博士(学術)
		IC特殊講義ⅡA IC特殊講義ⅡB 課題研究ⅠA 課題研究ⅠB 課題研究ⅡA 課題研究ⅡB 課題研究ⅢA 課題研究ⅢB
専	准教授	FAST THOMAS DAVID (54) <令和5年4月> 博士(人間科学)
		IC特殊講義ⅢA IC特殊講義ⅢB 課題研究ⅠA 課題研究ⅠB 課題研究ⅡA 課題研究ⅡB 課題研究ⅢA 課題研究ⅢB 外国語(英語)教育ⅡA 外国語(英語)教育ⅡB
兼任	教授	山下 美紀 (56) <令和5年4月> 博士(人間文化学)
		キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	准教授	森木 広太郎 (56) <令和5年4月> 博士(文学)
		ヨーロッパ社会史A ヨーロッパ社会史B
兼任	講師	福田 雄 (41) <令和5年4月> 博士(社会学)
		宗教社会学A 宗教社会学B
兼任	講師	金津 和美 (56) <令和5年4月> D.Phil.(英国)
		英米文学特殊講義ⅢA 英米文学特殊講義ⅢB
兼任	講師	里内 克巳 (59) <令和5年4月> 博士(文学)
		英米文学特殊講義ⅣA 英米文学特殊講義ⅣB
兼任	講師	田中 秀和 (55) <令和5年4月> Ph.D. in Linguistics(加国)
		英語学言語学特殊講義ⅢA 英語学言語学特殊講義ⅢB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	未定
		IC特殊講義ⅡA IC特殊講義ⅡB 課題研究ⅠA 課題研究ⅠB 課題研究ⅡA 課題研究ⅡB 課題研究ⅢA 課題研究ⅢB
専	准教授	FAST THOMAS DAVID (55) <令和5年4月> 博士(人間科学)
		IC特殊講義ⅢA IC特殊講義ⅢB 課題研究ⅠA 課題研究ⅠB 課題研究ⅡA 課題研究ⅡB 課題研究ⅢA 課題研究ⅢB 外国語(英語)教育ⅡA 外国語(英語)教育ⅡB
兼任	教授	山下 美紀 (56) <令和5年4月> 博士(人間文化学)
		キャリアデザインA キャリアデザインB
兼任	教授	森木 広太郎 (56) <令和5年4月> 博士(文学)
		ヨーロッパ社会史A ヨーロッパ社会史B
兼任	准教授	福田 雄 (41) <令和5年4月> 博士(社会学)
		宗教社会学A 宗教社会学B
兼任	講師	金津 和美 (56) <令和5年4月> D.Phil.(英国)
		英米文学特殊講義ⅢA 英米文学特殊講義ⅢB
兼任	講師	里内 克巳 (59) <令和5年4月> 博士(文学)
		英米文学特殊講義ⅣA 英米文学特殊講義ⅣB
兼任	講師	田中 秀和 (55) <令和5年4月> Ph.D. in Linguistics(加国)
		英語学言語学特殊講義ⅢA 英語学言語学特殊講義ⅢB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	杉崎 鮎司 (51) <令和5年4月> Ph. D. in Linguistics (米国)	兼任	講師	杉崎 鮎司 (51) <令和5年4月> Ph. D. in Linguistics (米国)
		英語学言語学特殊講義IVA 英語学言語学特殊講義IVB			英語学言語学特殊講義IVA 英語学言語学特殊講義IVB
兼任	講師	WILLIAM STONE BRADLEY (65) <令和5年4月> Ph. D. in Language, Reading & Culture (米国)	兼任	講師	WILLIAM STONE BRADLEY (65) <令和5年4月> Ph. D. in Language, Reading & Culture (米国)
		IC特殊講義IVA IC特殊講義IVB			IC特殊講義IVA IC特殊講義IVB
兼任	講師	達川 奎三 (65) <令和5年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	達川 奎三 (65) <令和5年4月> 博士(教育学)
		外国語(英語)教育IA 外国語(英語)教育IB			外国語(英語)教育IA 外国語(英語)教育IB

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。



(1) 一②担当教員表に関する変更内容

**【令和5年度】**

・小野真由美准教授が令和5年3月末退職。現在、後任の選考を進めている。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
5	3	2
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	2	0	0	7	0	4	1	0	0	5	0
(4)	(2)	0	0	(6)	(0)						
研究 指導 教員 数		研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		研究 指導 教員 数		研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	
うち教授数						うち教授数					
7	5	0	0			5	4	0	0		
(6)	(4)	0	0								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
5	2	0	0	7	0	5	2	0	0	7	0
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
研究 指導 教員 数		研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		研究 指導 教員 数		研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	
うち教授数						うち教授数					
7	5	0	0			7	5	0	0		
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]			[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
60（教授以外） 65（教授）	2	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{7} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{5} = \boxed{40} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	小野 真由美	R5.3	選択	IC特殊講義ⅡA	③	R5.3.31付で退職（一身上の都合による）						
				選択	IC特殊講義ⅡB	③							
				必修	課題研究ⅠA	③							
				必修	課題研究ⅠB	③							
				必修	課題研究ⅡA	③							
				必修	課題研究ⅡB	③							
				必修	課題研究ⅢA	③							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
1	人	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	6	科目
		選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	8	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
							該当なし						
合計（F）				後任補充状況の集計（G）									
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1 人	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	6 科目
	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	2 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	8 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	8 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{7} = \boxed{14.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
						該当なし			
合計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(3)の専任教員が令和5年3月末に退職したため、それを補うための専任教員が内定していたが、令和5年4月14日に採用辞退による内定取り消しとなった。  
 その後、来年度4月の専任教員の採用に向けて、現在、後任の選考を進めている。  
 なお、今年度入学者3名は、英米文学分野2名、英語学言語学分野1名であり、国際コミュニケーション分野は0名である。なお辞任した専任教員の担当予定科目は国際コミュニケーション分野の科目群にある。  
 年度当初には学生への聞き取りを行い、当該科目について今年度の履修希望者がいない旨を確認している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (令和4年)	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p> <p>【届出】 遵守事項</p>	<p>4名の教員が完成年度までに本学教職員就業規則の規定で定年年齢を迎えることとなるが、1名は同規則第19条(3)の適用、3名は同規則第19条第2項の適用により完成年度までの雇用は可能であり、指導体制は整っている。(5)</p>	<p>新規採用を含む人員計画の策定、若手教員の育成、再雇用の規定適用等、将来的な構想を策定・実行することで継続性のある教育研究の担保を図っていく。(5)</p> <p>履行中</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。  
**【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】**  
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。  
**【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】**  
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）（５）」と記載してください。  
**【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**  
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。



## 7 その他全般的事項

<文学研究科 英語英米文学専攻 博士後期課程>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
施設・設備 図書（電子ジャーナル）17,397（うち外国書15,777）	学生の修学環境を改善するため、電子ジャーナルを9,858（うち外国書9,821）を増書した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

本学では、大学院学務・FD委員会及びFD等推進委員会を設置し、それぞれ大学院及び学部教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげている。当該委員会は全教員対象のFD研究会を開催し、組織的な研修機会を提供している。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

【ノートルダム清心女子大学大学院学務・FD委員会】（委員9名）

令和4年度の委員会の開催は13回。4月（8名出席）、5月（7名出席）、6月（9名出席）、7月（9名出席）、9月（9名出席）、10月（9名出席）、11月（9名出席）、12月（9名出席）、1月（9名出席）、2月（9名出席）、3月（9名出席）、3月回議（2回）であった。

【ノートルダム清心女子大学FD等推進委員会】（委員12名）

令和4年度の委員会の開催は6月（8名出席）、11月（回議）

##### c 委員会の審議事項等

【ノートルダム清心女子大学大学院学務・FD委員会】

- ・ 教育課程の編成及びその実施に関する事項
- ・ 学位授与制度に関する事項
- ・ 修学環境改善に関する事項
- ・ FD 推進のための企画・立案及び実施に関する事項
- ・ 専攻間における連絡調整に関する事項
- ・ その他大学院における重要事項

【ノートルダム清心女子大学FD等推進委員会】

- ・ FD 推進のための企画・立案及び実施に関する事項
- ・ 学生による授業アンケートの企画・実施・分析に関する事項
- ・ FD活動に関する情報の収集と提供に関する事項

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

- ・ 全教員教員対象のFD研修会の実施
- ・ 研修会への教員派遣

b 実施方法

- ・対面での実施に加え、コロナ対策でZoomでの実施、職務の関係で参加できなかった場合に備えて録画動画を後日配信している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・令和4年度FD研修会（SDとの合同開催）

令和4年7月5日・7日（両日同内容） 学習成果の可視化の実質化と教学マネジメントの確立

令和4年8月31日 第三期認証評価に向けて

令和4年10月5日 新学部新学科の設置について

令和4年10月19日 個人結果の見方ならびにセルフケア

令和5年1月19日 「デジタルトランスフォーメーション現状と実施事例紹介：大学におけるDXに向けた取り組みそしてSDGsへ」

令和5年2月22日「GPS - Academicの活用と他大学の活用事例の紹介」

- ・研修会への教員派遣

令和4年度FD推進ワークショップへの参加（一般社団法人日本私立大学連盟）

第29回カトリック法人リーダー研修会（日本カトリック学校連合会）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・学生に対する授業評価アンケートに加え、「自主学習アンケート」を実施していたが、令和4年度からは、文科省の全国学生調査を参考にして、「学びの実態調査」と名称変更し、内容を大幅改訂したうえで実施している。学生個々の学習状況・学習成果を把握・分析する性格が強く、卒業生アンケート（卒業時アンケート）、アセスメントテスト（GPS - Academic）との統合も検討している。

- ・令和5年1月及び2月開催の大学院学務・FD委員会にて大学院を対象としたFD研修会等の必要性について検討し、令和5年度中に実施する予定となった。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

第1期と第2期の年2回

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に公開し、教員がアンケートにコメントを付す。その後、学生に公開する。

アンケート結果の公開方法は、大学のポータルシステムにて行う。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

文学研究科英語英米文学専攻博士後期課程は、本年度開設し、設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価を行う段階にはないが、初年度の入試において入学定員2人に対し、3人の志願者があり（志願倍率は1.5倍）、入学者3人であった。このことから、本専攻の特色について一定程度理解されていると考える。引き続き設置計画を着実に履行し、英米文学・英語学言語学・国際コミュニケーションの領域において、それぞれの専門分野を牽引する研究者と文化・学術的交流に貢献する国際的な高度専門職業人を養成に努めていく。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

・令和6年3月31日 公表

###### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和6年3月末を予定）

##### ③ 認証評価を受ける計画

・本年度（令和5年）に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受ける。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 [ ( ) ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

## ノートルダム清心女子大学大学院学務・FD委員会規程

## (目的及び設置)

第1条 ノートルダム清心女子大学大学院（以下「本大学院」という。）は、本大学院の教育理念に基づき、教育・研究の向上及びファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）活動等を推進し、地域社会、国際社会で貢献できる人材の育成を図ることを目的として、ノートルダム清心女子大学大学院学務・FD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

## (審議事項)

第2条 委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項を審議し、必要な事項を処理する。

- (1) 教育課程の編成及びその実施に関する事項
- (2) 学位授与制度に関する事項
- (3) 修学環境改善に関する事項
- (4) FD推進のための企画・立案及び実施に関する事項
- (5) 専攻間における連絡調整に関する事項
- (6) その他大学院における重要事項

## (構成)

第3条 委員会は、次の各号の委員をもって構成する。

- (1) 研究科長
  - (2) 本大学院の教員で、学長の指名する者
  - (3) その他、委員会が必要と認めた者
- 2 委員会に委員長を置く。委員長は学長が指名した研究科長とする。
- 3 委員の任期は1年とする。但し再任は妨げない。

## (運営)

第4条 委員会は、委員長が招集する。

- 2 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名した委員が、その職務を代行する。
- 3 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって議決する。可否同数のときは、委員長がこれを決する。
- 4 委員会は、必要に応じ、委員以外の者の出席を求めて意見を聞くことができる。

## (事務局)

第5条 委員会の事務局は、学務部に置く。

## (改廃)

第6条 この規程の改廃は、委員会及び研究科委員会の議を経て学長が決定する。

附 則

この規程は、2019年7月25日から施行する。

ノートルダム清心女子大学 FD 等推進委員会規程

(目的及び設置)

第1条 ノートルダム清心女子大学（以下「本学」という。）は、本学の教育理念の実現に向け、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を積極的に推進し、本学の教育活動の質向上と発展を図ることを目的として、ノートルダム清心女子大学 FD 等推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項を審議し、必要な事項を処理する。

- 一 FD 推進のための企画・立案及び実施に関する事項
- 二 学生による授業評価アンケートの企画・実施・分析に関する事項
- 三 FD 活動に関する情報の収集と提供に関する事項

(構成)

第3条 委員会は、次の各号の委員をもって構成する。

- 一 副学長（教学担当）
  - 二 学務部長及び学務部長補佐（教務担当）
  - 三 学部長
  - 四 本学の教職員で、学長の指名する者
  - 五 その他、委員会が必要と認めた者
- 2 委員会に委員長を置く。委員長は副学長（教学担当）とする。
- 3 委員の任期は1年とする。但し再任は妨げない。

(運営)

第4条 委員会は、委員長が招集する。

- 2 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名した委員が、その職務を代行する。
- 3 委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって議決する。可否同数のときは、委員長がこれを決する。
- 4 委員会は、必要に応じ、委員以外の者の出席を求めて意見を聞くことができる。

(事務局)

第5条 委員会の事務局は、学務部に置く。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、委員会及び教授会の議を経て学長が決定する。

附 則

この規程は、2019年9月20日から施行する。